

ミヤンマーでメカ人材募集

ジョイカル ジャパン 教育支援体制も

自動車販売チェーンを展開するジョイカルジャパン（中村靖弘社長、東京都品川区）は、加盟店の人材採用と育成支援に乗り出す。ミヤンマーで日本での就労を希望する人材を募集、面談し、適性を見極めた上で人材を確保する。人材募集から面談、来日前後の教育、来日後のサポートまでを総合的に手がけることで「未来の整備現場を作っていく」（中村社長）考え、第1陣として、2017年1月には5人が来日。今後は年間20人を定期的に受け入れる計画を進める。

メカニック人材の不足が課題になる中、外国人技能実習生の受け入れが一つの光明になりうる。と捉え、仕組みを構築する。具体的には、メカニックとして働きたい人をミヤンマーで募集する。集まった人材を対象に同社による面談を

実施し、一定の審査基準を通過した人材が加盟店との面談を行う。合格者には、来日前に日本語レベル3級の取得支援などを行う。来日後は、受け入れ機関で基本的な整備技術や日本でのマナー、生活習慣などを1カ月間にわたって学ぶ。その後、加盟店へと配属する。

来年1月に来日する第1陣は、鳥取や島根、岡山の加盟店への配属がすでに決定している。中村社長は「今回はあえて受け入れるパートナー店

（加盟店）同士が近くなるようにした」と述べる。外国人技能実習生がホームシックになったり、仕事上で悩みごとが出た場合に比較的集まりやすく、相談ができるようにするためだ。来日後のサポート体制は特に重視しており、実習生が働き続けるためのきめ細かな支援体制の構築も目指す。

ミヤンマーでのメカニック人材の募集は3カ月に1度のペースで実施しており、第2陣となる4人は、17年4月にも来日する見通し。同社では「パートナー店の困難の解決、将来への希望を見いだす取り組みの一つとして最重要課題として取り組んでいく」方針を示す。